

会員企業の株式会社テラオが『環境ラベルタイプⅢ』表示へ


社団法人産業環境管理協会(JEMAI)では、平成10年9月からライフサイクルアセスメント(LCA)手法を応用した製品の定量的環境情報を表示する環境ラベルのプログラム開発を開始し、平成12年6月にプログラムの試行版としての“JEMAIプログラム実施ガイドブック Ver. 2”の作成に至りました。経済産業省は製品の定量的環境ラベルとしてこのプログラムに注目し、平成12年度補正予算において産業環境管理協会に実証研究を進めることを要請されました。



周知のように、国は平成12年度国会において循環型社会形成基本法等を制定し循環型経済社会の構築に向かって動きだしました。その動きの中で、製品・サービスの環境調和性が強く求められるところとなっています。生産者から消費者等のユーザーに製品・サービスが持つ環境負荷を伝達・コミュニケーションする手段として環境ラベルが存在します。が、しかし、それは国際標準化機構(ISO)の場ではタイプⅠと呼ばれる認証マークの有無で識別する第三者認証マーク方式のもので、製品等が有する環境負荷情報を表示するものではありません。そこで、定量的環境情報を表示するという新しいタイプの環境ラベルが求められるようになってきたのです。ISOでは、この新しいタイプの環境ラベルをタイプⅢと呼んでいます。これは生産者とユーザーのコミュニケーション手段としてはタイプⅠより有効と目されているところであり、経済産業省におかれては、タイプⅢ環境ラベルのこの有効性に注目され、今回の実証研究を要請されたとうかがっています。


製品環境宣言

Product Environmental Aspect Declaration



株式会社 **テラオ**


<http://www.i-kochi.or.jp/hp/terao/>



製品環境宣言/PEAD
Prov. 017
2001. 05. 25

この製品の定量的環境情報は下記のURLで公開しています。
<http://www.jemai.or.jp>

セラゾン/CZ-10ST
本製品は、大型浴槽の風呂水を循環利用する目的で、ろ過とオゾン殺菌する装置で、1時間に10tの風呂水を循環処理できます。



- ① ライフサイクル全体にわたっての10年間の使用を含む消費エネルギーは、95万MJで、CO₂排出量は38トン程度です。
- ② 使用ステージでは、電力消費量が80MWh程度で、10年間に交換する水の総量は1,050トン程度で、月平均約9トンとなります。

産業環境管理協会では、今回の実施研究の成果を生かし、国際的にも先進的で信頼性の高いタイプⅢ環境ラベルの提供を計画されているようです。今回参画した28社各企業の製品についての実施研究成果はホームページ(<http://www.jemai.or.jp/ecolabel/>)上で公開されており、その中に会員企業である株式会社テラオの循環ろ過システム「セラゾン」も含まれています。

完全オゾン処理型循環ろ過機
安全推進協議会

URL :

<http://www.i-kochi.or.jp/hp/terao/kanozo/>

e-mail : kanozo@i-kochi.or.jp